

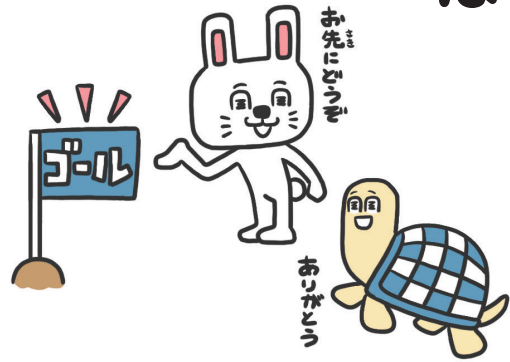
みんなと仲よくなるには

「自分が自分」では

いけないよ。

友だちにゆずる

心を持つとう。



おくとろ ふん
書き下し文

径路の窄き処は、一步を留めて人の行くに与え、滋味の濃やかなる是は、三分を減じて人の嗜むに譲る。(前集13)

人にゆずる気もちが自分を助けるよ



友だちとケンカした時やうまくいかなくて悩んでいる時は、この言葉を思い出してほしい。洪自誠せんせいには、友だちや周囲の人と接する時に、自分がどうすることが大事なのか次のように教えている。

「一人しか通れないような狭い道で友だちとすれ違うことがあったら、先に友だちを通しなさい、おやつがあったら、自分よりも相手に多く分けなさい」と言っているよ。人をおしのけたり、自分の得になることをすると、嫌われたり、憎まれたりしてうまくいかなくなる。相手にゆずる気もちを持つことが、一番大切な人付き合いの方法なんだ。

狭い道で、きみが「急いでいるから」と、友だちを押しつけて先にいったら、友だちはいやな気もちになる。でも、きみが友だちを先に通してあげれば、友だちは喜んでくれるだろう。「この」人にゆずる気もちこそが、周りの人とうまくやっていくために重要なことなんだ。